

MD(KD-II・MD-NC)ジョイント MD ユニオン(MDU) 施工例

MD ユニオンは、主に改修工事などで既設配管を改修する際に使用します。MD ユニオンをご使用頂くことで既設配管の解体が最小限で対応できます。

以下に既設配管と既設継手管をつなぐ場合の施工例を示しますので、要領に従い施工して下さい。

●施工例

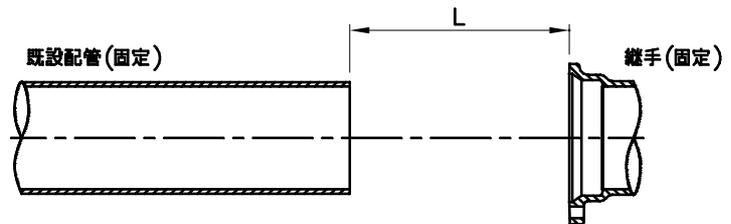
1. 既設配管端面と既設継手端面のすきま(L)が、MD ユニオンの全長(付表 1.参照)以上になっている事を確認して下さい。

すきま(L)が不足している場合は、管を切断し、全長以上にして下さい。

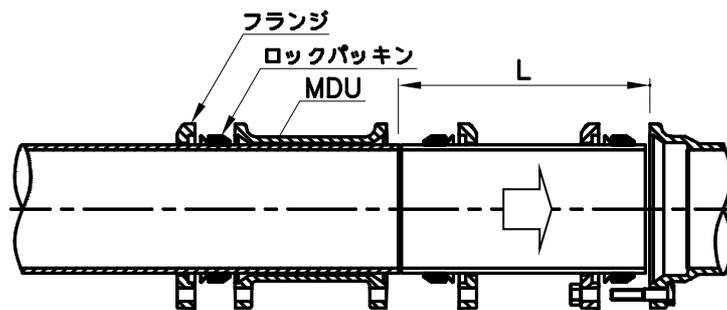
*付表1

(単位: mm)

MDU 呼び	1 1/2	2	2 1/2	3	4	5	6	8
全長	78	91	100	114	134	148	157	195



2. 下図の様に既設配管側へフランジ、パッキン・MDU の順に挿入します。また、新設するパイプを付表 1.の L 寸法で切断し、フランジ、パッキンを挿入した上で、継手側に接続します。



3. 新設したパイプを継手に差し込んだ分だけスキマ(A)が生じる為、このスキマ分の短管を付表 2.の寸法を参考に準備して下さい。

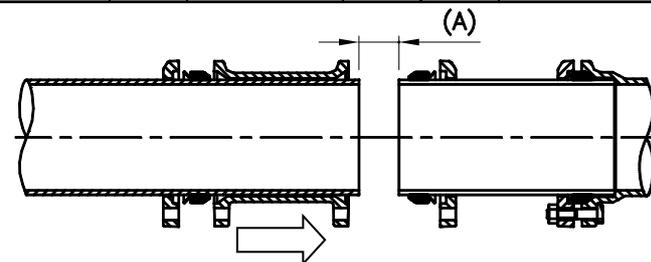
この短管をスキマに入れ、MDU を短管の中心にくるようにスライドさせ、接続します。

(フランジは、MD・KD-II 標準締付けトルクにて締付けて下さい。)

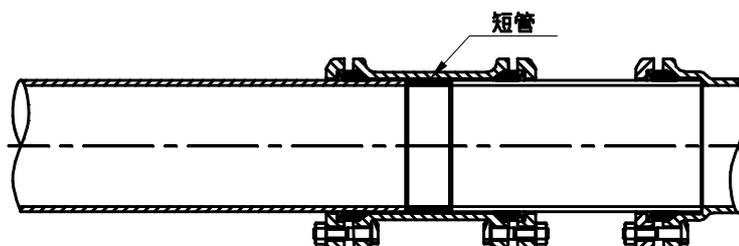
*付表2(参考)

(単位: mm)

呼び	1 1/2	2	2 1/2	3	4	5	6	8
短管長さ	20	25	30	35	40	40	50	50



4. 施工完了



注意!!

短管を入れないと、パイプと MDU の内面に段差が生じ、異物等が詰まる恐れがございます。必ずスキマに短管を入れ施工して下さい。